



西区エコキャラクター  
「さんかくやまベエ」

※プロフィールは下段欄外参照

# 子どもたちと語る、 地球に優しいまちづくり。



## ～環境活動手引絵本作りの取り組み～

西区では、区内の小学校5・6年生から公募で選ばれた23人の子ども編集局員（前写真）が西区エコキャラクター「さんかくやまベエ」を主人公に、環境活動の手引となる絵本作りを進めています。今回は、子ども編集局員から3人と、子どもたちをサポートしているNPO法人の宮本さん、谷口西区長の座談会を行い、環境活動や絵本作りへの思いを語っていただきました（文中敬称略。子ども編集局員のプロフィールは①学校・学年②好きなこと③将来の夢。なお、この座談会は平成19年11月10日に行われました）。

谷口 どんなことをしたいと思ってる絵本作りに応募しましたか。  
水口 絵を描くことが好きで、絵本の絵を描いてみたいなあと思っていました。



みずくちみさき  
水口実咲さん

①琴似小5年生②漫画の絵を描くこと③獣医

齊藤 お話を作るのが得意なので、話を作ってみたいと思ったからです。

小島 自然環境のことを知ってみたいからと、人が見えてくれるような、楽しい絵本

### 子ども編集局員のこれまでの活動

① 9/ 2 (日)	三角山自然観察	顔合わせ、自然観察、三角山登山者取材
② 9/ 9 (日)	編集会議	役割分担決め
③ 10/20 (土)	取材（見学）	リサイクルプラザなど7カ所を取材
④ 11/10 (土)	編集会議	ストーリー、キャラクター決め
⑤ 12/ 8 (土)	子ども環境活動発表会	活動内容ステージ発表
	編集会議	絵本見本チェック



さいとうゆか  
齊藤雪花さん

①琴似小5年生②お菓作り③パティシエ

小島 三角山に登って、山にはあまり登ったことがなかったの、山の中がすごい涼しいと思いました。

にしたいと思ったからです。谷口 これまでグループで自然観察会や取材をして、どんなことが心に残っていますか。水口 獣医になりたいので、円山動物園の獣医さんに会って勉強になりました。齊藤 取材で齊藤ファームに行きました。元は牧場だった喫茶店で、サイロを見せてもらいました。

**子どもたちの知識に体験が結び付いて、行動につながってほしい（宮本）**

谷口 子どもたちをいろんな面でサポートされましたが、その感想などについてお願いします。

宮本 私どもは環境学習をサポートすることを目的としたNPO法人です。特に直接的な自然体験を重要視して、子どもから大人までのいろいろな体験メニューを提供しています。

今回、環境のことを子どもたちが教える側になる絵本作るということで、どうなるかと思いましたが、子どもたちの方が環境問題について詳しくて、特にエコライフに関しては、アイデアなどいろいろなことをよく知っているなあと思いました。一方で、ただそれは教えられたもので、テレビの影響などがすごく大きく、あんな面白そうな面もあったので、実際に自分たちで体験することで知識と体験が結び付き、何か行動に結び付けてくれることを期待しています。

谷口 大人以上に子どもたちは環境についていろんな関心を持っていて私も感じています。大人の視点ではなかなか見えてこない、子どもの視

点だからこそ見えてくるものも多いのではないかと思います。

**ごみ問題はすごい大きいと思います（水口）**

谷口 これまで環境について皆さんが思っていたことや、今回取材などをしてみて気付いたことを教えてください。水口 地球温暖化をどうやってなくせるかということを考えてきました。ごみ問題のことは前々から知っていたんですけども。この「さんかくやまベエ」の絵本作りで、ごみ問題はすごい大きいのだなあと思いました。

谷口 札幌市でも今、ごみを減らそうと計画を作っており、市民からいろんな意見をもらいながら協力してごみを減量しようとしています。関心を持ってもらえたらと思います。齊藤 西区はお店が多いからごみが多いと思います。それで、地球温暖化現象はどうなのかを考えたりします。

小島 車とかが走ったりすると排気ガスが増えて、どうやったら環境に優しくなるのかと思いました。



こじまたける  
小島 健くん

①二十四軒小5年生②水泳③ゲームクリエイター

※さんかくやまベエのプロフィール～三角山と琴似発寒川に古くから住む妖怪。西区の自然が大好きで、ヤマベ（ヤマメ）や草花と、のんびり自給自足（地産地消）の生活を送っている。とぼけた顔をしているが、このごろは、地球温暖化に悩んでいる。